

入隊前の不安を解消 入隊予定者及び保護者向け説明会を開催



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 児玉憲幸・陸尉）は、2月1日（日）、入隊予定者及びその保護者を対象とした説明会を実施した。

本説明会は、自衛隊の任務や入隊後の生活、福利厚生等について理解を深め、入隊前の不安解消を図ることを目的として開催され、多くの入隊予定者及び保護者が参加した。

冒頭、神奈川自衛隊家族会西湘地区会長の渡辺氏が家族会の概要について説明し、入隊後の連絡態勢や支援内容、家族同士の交流について紹介した。続いて、所長が「自衛隊ってどんな仕事？」をテーマに、自衛隊の組織や主な任務、災害派遣を含む活動内容について、具体例を交えながらわかりやすく説明した。

その後の座談会では、保護者及び陸上・海上・航空自衛隊の入隊予定者ごとに四つのグループに分かれて意見交換を実施した。各グループでは、入隊後の生活や勤務環境、将来のキャリアなどについて活発な質疑応答が行われ、参加者からは「具体的な話が聞けて安心した」「不安が解消された」といった声が寄せられた。

平塚地域事務所は「今後も入隊予定者とその家族が安心して自衛隊生活を迎えられるよう、丁寧な情報提供と支援を継続していく」としている。

フレスポ小田原シティーモールで広報活動

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 奥山貴志・陸尉）は、2月15日（日）、フレスポ小田原シティーモール（小田原市前川）で実施された「災害時に活躍する『働く車』の展示」イベントに参加した。本イベントは、地域住民に防災意識の向上を図ることを目的として実施されたもので、小田原地域事務所は陸上自衛隊第1高射特科大隊の支援を受けて広報活動を実施した。

第1高射特科大隊は、11/2t救急車（通称「アンビ」）を展示し、車両の特徴や任務内容について来場者に丁寧な説明した。普段は間近で見ることの少ない自衛隊車両を前に、来場者は隊員の話に熱心に耳を傾け、車両を背景に写真を撮る姿も多く見られるなど、関心の高さがうかがえた。

小田原地域事務所は、会場に広報ブースを開設し、チビッコ迷彩服の試着体験や自衛隊の制度説明を実施した。試着体験では、多くの子どもたちが迷彩服に袖を通し、「アンビ」の前で記念撮影を行うなど、和やかな雰囲気の中で交流が深まった。自衛隊をより身近に感じてもらう機会となり、「とってもカッコいい」「ほかの装備品も見たい」といった声も寄せられた。

小田原地域事務所は、「今後も地域との連携を一層強化し、各種イベントへの積極的な参加を通じて自衛隊への理解を深め、その成果を着実に採用広報活動へとつなげていきたい」としている。

